

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-10	中学校	国語科	国 語	第1学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 730	伝え合う言葉 中学国語 1		

1. 編修の趣意及び留意点

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～第5号）」と、学習指導要領に示された教科目標の達成を旨とし、以下の方針に基づいて編修しています。

☆国語で扱う三つの領域（教材例）



身近な言語活動を通して、幅広い知識と教養を身に付けます。(p.207)

○話すこと・聞くこと

- フリップを用いて報告する……………42
- 友達のスピーチを聞く……………158
- アイデアを出して話し合う……………206

○書くこと

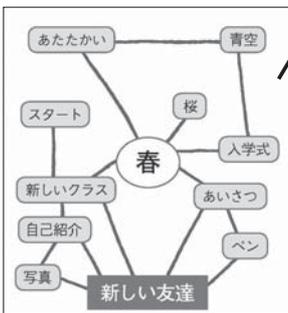
- 体験したことを文章にする……………28
- 芸術作品の鑑賞文を書く……………70
- 行事などの案内文を書く……………98
- 意見文を読み合う……………160
- 図表を用いて報告する……………178

○読むこと

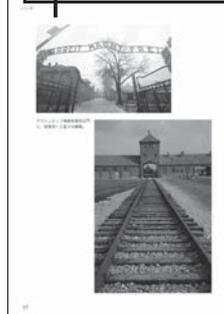
- 音を追いかけて……………20
- 古典の扉を開く……………104
- ベンチ……………50
- 少年の日の思い出……………190
- 花の形に秘められたふしぎ……………148
- 言葉がつなぐ世界遺産……………166
- 言葉の上達は競技を上達させる……………210



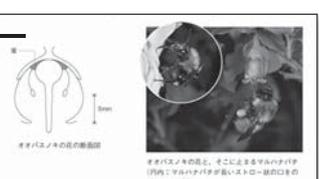
「通学路安全マップ」を作り、報告する活動を通して、公共の精神に基づいた主体的な社会参画を促します。(p.43)



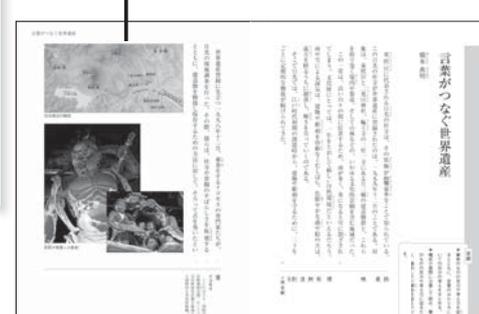
自己の価値を尊重し、創造性を培うためマッピングの手法を採用。(p.28)



ユダヤ人の差別と迫害の歴史を知り、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(p.57)



自然の仕組みを題材にした教材を通して、生命を尊び、自然を大切にすることを育てます。(p.150)



世界遺産の日光「東照宮」を題材に、我が国の伝統文化を尊重する態度を養います。(p.166～167)

☆国語科の三つの領域を支える一つの事項

〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕

〔古典教材〕生徒に親しみのある教材と、豊富な写真、及び、資料を掲載し、我が国の伝統文化を尊重する態度を育むことができるよう考慮しています。

現代にも通じるユーモアにあふれた『川柳』と『東海道中膝栗毛』で小学校の学習を振り返るとともに、中学校最初の古典学習の扉を開きます。『竹取物語』では、ストーリーの展開に合わせ絵巻の写真を多数掲載し、**学習者の興味と関心を喚起**します。また、古典教材の次に、近代文学へと学習者をいざなう読書教材を設けたり、**日本の豊かな四季と言葉を結びつける美しい写真とともに構成**した「四季のたより」を設定したりするなど、古典から現代へとつながる**豊かで幅広い知識と教養**を身に付けられるよう配慮しています。

〔言語教材〕言葉に関する幅広い知識と教養を、日常生活の中から楽しく身に付けられるよう、脚本仕立てのコラムを、導入ページとして設定しました。

〔巻末折込・見返し〕

教科書巻末の折込、見返しには、教室の実態に合わせて、日本の伝統的な言語文化についての幅広い知識と教養を育み、我が国の伝統と文化を尊重する態度を育てることに寄与する豊富な資料を掲載しています。

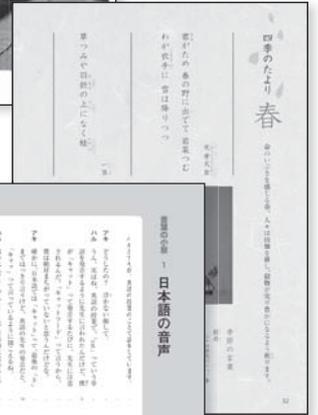
- ①『小倉百人一首』では、百人一首の百首を全て掲載。
- ②『古典作品へのいざない』では、『古事記』『伊勢物語』の一節を掲載。
- ③『伝統芸能へのいざない』では、落語の基礎知識を丁寧に紹介。
- ④『自己を知り、自己を深める』では、中世から近現代にわたって読み継がれ、生徒の**道徳心を育む**日本の名著の一節を多数紹介。
- ⑤『「ふるさと」を巡る』では、文学作品にゆかりのある風景を、3学年にわたって都道府県別に紹介。文学を通して**郷土を愛する心**を育みます。

▼p.104



江戸時代の長屋（復元）

▶p.32



▶p.45



◀巻末折込④～⑤

▼巻末折込⑧～⑩



▲巻末折込⑪～⑫



▶見返し⑭～⑮

2. 編修の基本方針

本教科書は、**教育基本法第二条に示す教育の目標及び学習指導要領の目標**を達成するために、構成・内容と教材の選択について、以下のような方針で編修しました。

☆生徒が表現の豊かさや美しさを感じ取ることができるように、**幅広い知識と教養**を身に付けられる構成・内容としました。
 ☆生徒一人一人が**個人の価値を尊重**して、その能力を伸ばし、**創造性を培う**ように配慮しました。

構成・内容

☆各領域とも**幅広い言語活動**を通して、国語の学習の**基礎的・基本的な能力や思考力・判断力・表現力**を育成することができるように、**系統的な単元構成・内容**としました。
 ☆さまざまな**言語活動**を通して、**言葉への興味・関心**を喚起するように配慮しました。

☆友達と話し合ったり、書いたりする活動を通して、**自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるもの**を精選しました。
 ☆**我が国と郷土、日本語を愛する**とともに、現代の私たちと古人との言語文化の共通点や相違点を探ることのできる教材と資料について考慮しました。

教材の選択

☆教材は、古今東西の名作をはじめ、幅広いジャンルの中から話題を選び、**親しみやすかつ学習指導要領の各指導事項に即したものを**精選しました。
 ☆**我が国の自然や四季の美しさを感じ取れるもの**、**今ふれてもなお、いにしへの時代に思いをはせることができるもの**を厳選し、掲載しました。

3. 対照表

図書の内容・構成と**教育基本法第二条の第1号から第5号**との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

領域	あてはまる教材名	特に意を用いた点や特色	該当箇所
聞くこと・話すこと	フリップを用いて報告する	●「通学路安全マップ」を作り、報告する活動を通して、公共の精神に基づき、主体的に社会に参画しようとする態度を養えるよう配慮しました。〈第3号〉	p.42～44
	友達のスピーチを聞く	●社会の形成と発展の基盤となる「人の話を聞く」態度を身に付け、自他を敬愛する態度を養えるよう配慮しました。〈第3号〉	p.158～159
	アイデアを出して話し合う	●「この一年を漢字で表す」ことを通して、我が国の伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度を養えるよう配慮しました。〈第5号〉	p.206～209
書くこと	体験したことを文章にする	●「体験したことを随筆に書く」ことを通して、自己の価値を尊重するとともに、創造性を培えるよう配慮しました。〈第2号〉	p.28～30
	芸術作品の鑑賞文を書く	●「芸術作品の鑑賞文を書く」ことを通して、幅広い知識と教養を身に付け、芸術のものに対する豊かな情操を培えるよう配慮しました。〈第1号〉	p.70～72

領域	あてはまる教材名	特に意を用いた点や特色	該当箇所
書く(1)	行事などの案内文を書く／ 図表を用いて報告する	●「行事などの案内文を書く」「図表を用いて報告する」ことを通して、主体的に社会の形成に参画し、自他の協力のもと、その発展に寄与しようとする態度を育成できるよう配慮しました。(第3号)	p.98～99／ p.178～181
	意見文を読み合う	●「よい言葉を未来へ残したい」というテーマの意見文を書くことを通して、言語的な伝統と文化を尊重し、それを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号)	p.160～161
読む(1)	ふしぎ	●現代の人々の共感を集める童謡詩人の詩にふれることによって、他者を尊重する態度を育てることができるよう配慮しました。(第3号)	p.14～15
	音を追いかけて	●中学校に入学した生徒たちが、主人公と同じ目線で読むことのできる作品と出会うことによって、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心が培うことができるよう配慮しました。(第1号)	p.20～27
	笑顔という魔法	●未知の課題に取り組む筆者の研究者としての姿勢を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるよう配慮しました。(第1号)	p.34～41
	ベンチ	●本から情報を得る方法を学習するとともに、「紹介図書」を付して、幅広い知識と教養が身に付くように配慮しました。(第1号) ●ユダヤ人の差別・迫害問題を素材にした教材を通して、差別の不当さ、平和の大切さを実感できるよう配慮しました。(第3号)	p.50～61
	写真と言葉が生み出す世界 ——メディアリテラシー入門——	●表現活動を通して写真と言葉の関係性について考え、表現することの真理を求める態度を養うことができるよう配慮しました。(第1号) ●教材を通して社会の歴史と労働者の技術について知り、職業と生活との関連に思いをはせて勤労を大切にすることを養えるよう配慮しました。(第2号) ●写真と言葉を組み合わせた表現活動を通して、メディアの功罪について知り、社会の形成および参画に生かせるよう配慮しました。(第3号) ●アメリカの移民労働者の現状を通して世界の諸問題に思いをはせ、その平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。(第5号)	p.62～69
	河童と蛙	●幻想的な、「河童」と「蛙」の織りなす世界を描いた作品を読むことを通して、幅広い教養や豊かな情操を育むことができるよう配慮しました。(第1号) ●個性的な言葉と豊かな発想で書かれた詩にふれることによって、我が国の言語と文化を尊重する態度を育てることができるよう配慮しました。(第5号)	p.76～79
	オツベルと象	●正義と責任、人権や平等といった課題について、自ら考える態度をもつとともに、公共の精神を追求し続けることができるよう配慮しました。(第3号)	p.80～97
	蜘蛛の糸	●充実した「紹介図書」を付し、幅広い知識と教養が身に付くよう配慮しました。(第1号) ●「カンダタ」と「お釈迦様」との関係を通して、善悪をめぐる問題について深く考えることができるよう配慮しました。(第3号) ●近代以降の日本を代表する作家の名作を読むことによって、我が国の伝統文化を尊重する態度を育てることができるよう配慮しました。(第5号)	p.124～133
	電子レンジの発想	●「電子レンジ」という便利で身近な器具を取り上げ、その発想を捉えることで、真理を求める態度を養うことができるよう配慮しました。(第1号)	p.138～141
	言葉のゆれを考える	●客観的なデータと個人の言語使用のあり方を意識させる教材を通して、社会と個人の結びつきや自分自身のあり方について考えることができるよう配慮しました。(第2号)	p.142～147
	花の形に秘められたふしぎ	●「花の形」と「訪れる昆虫」の対応関係を読み取り、自然の不思議と出会うことによって、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(第4号)	p.148～157
	言葉がつなぐ世界遺産	●世界遺産である日光の「東照宮」の保護には、「言葉」が重要な役割を果たしているという筆者の主張にふれ、我が国の伝統と文化、及び日本語を尊重する態度を育てることができるよう配慮しました。(第5号)	p.166～176
	四季の詩	●優れた表現で書かれた国内外の著名な詩にふれ、幅広い教養を身に付けたり、豊かな情操を育んだりできるよう配慮しました。(第1号) ●国内外の著名な詩を読み、作品を通して我が国の伝統と文化を尊重するとともに、他国の伝統と文化も尊重する態度を育むことができるよう配慮しました。(第5号)	p.184～185
	少年の日の思い出	●少年の日の苦い思い出を抱えて生きてきた「客」とそれを受け止める「私」との間に、どのような関係性を見いだせるのかを考えることによって、自我の芽生えと発達を経験していく中学生が、自主および自律の精神を養うことができるよう配慮しました。(第2号)	p.190～205
	言葉の上達は競技を上達させる	●世界のトップレベルで活躍するアスリートが自分の力をどのように伸ばしていったのかを学び、その生き方から自主及び自律の精神を養い、自らの生活との関連を図ることができるよう配慮しました。(第2号)	P 210～211
	古典の扉を開く——百年後、千年後の友人であるあなたへ—— ／ 物語の始まり——竹取物語—— ／ 故事成語——中国の名言——	●生徒が興味をもって接することができるよう親しみやすい作品を厳選するとともに、美しい絵や写真を掲載するなど、我が国と中国の本格的な伝統文化にふれることができるように、さまざまな工夫を施しました。(第5号)	p.104～123
特質 国語の	日本語の音声／日本語の文字／ 言葉の単位／文の成分／ 単語のいろいろ	●日本語に関する基本的な知識と教養を通して、日常用いる言語を客観的に分析し、社会性や法則性に自ら気づくことができるよう配慮しました。(第1号) ●日本語の学習を通して、日本はもとより、他国の文化も尊重する態度を養うことができるよう配慮しました。(第5号)	p.45／102／ 73／164／186 p.214～239
付録	古典作品へのいざない／伝統芸能へのいざない／自己を知り、自己を深める	●落語についての解説や先人の作品や言葉の紹介を通して、伝統的な言語文化についての知識や教養を高めることができるように、さまざまな工夫を施しました。(第5号)	巻末折込

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された義務教育の目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

☆特色1 見やすく、わかりやすい紙面

全体を通しての統一感や一体感、読みやすさ、わかりやすさを意識したフォントやレイアウト、安心感と安定感のある色づかい、トーンバランスを心がけました。

☆特色2 小学校国語や高等学校国語との関連

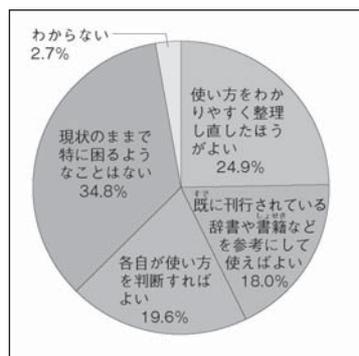
第1学年では、中学校での国語の学びを励ます詩、小学校国語で学んだことの振り返りと中学校国語で学ぶことを学習の「導入単元」として設置し、小学校国語と中学校国語の無理のない接続を目指しました。また、幅広いジャンルから多数の図書を取り上げ、読書を通して国語の基礎的な能力を養い、生活を明るく豊かにするよう図りました。さらに、第3学年では、高等学校「国語総合」でよく取り上げられる作者・筆者の作品を集めた「送り出し」単元を設定し、高等学校国語との接続も意識しました。

☆特色3 学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応…色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。カラーユニバーサルデザイン（CUD）は第三者機関による審査及び認証を受けています。

環境への配慮…教科書の印刷にはグリーン電力を使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。また、再生紙と植物油インキを使用しています。

▶p.332



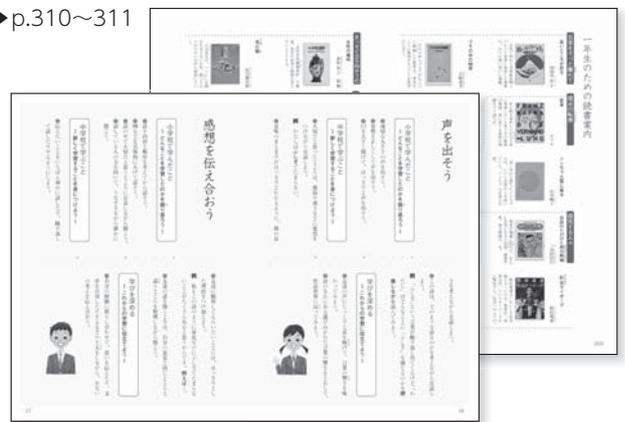
▶p.80~81



▼p.70~71

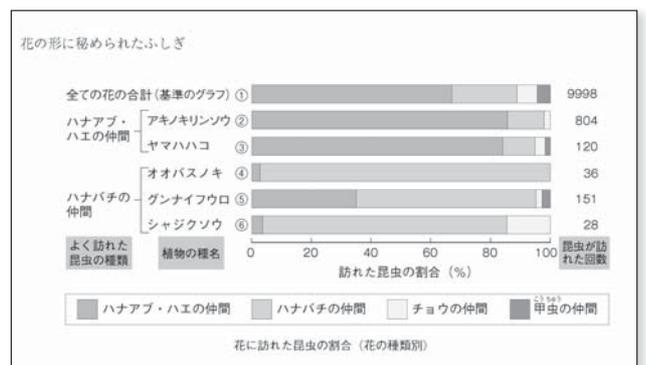


▶p.310~311



▲p.16~17

▼p.149



▶p.144



編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

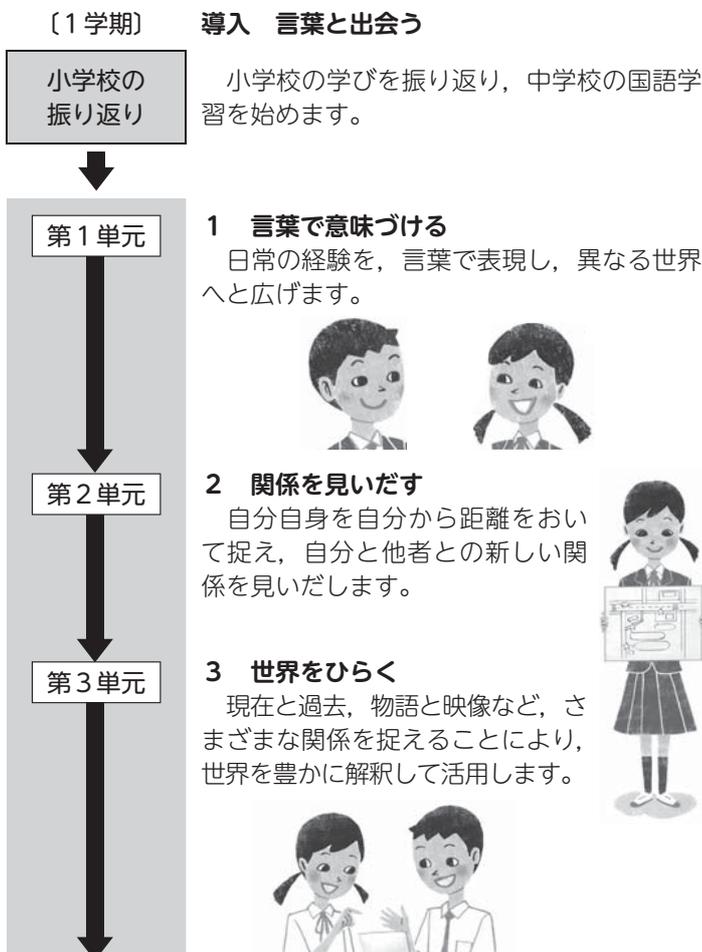
受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-10	中学校	国語科	国 語	第1学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国語 730	伝え合う言葉 中学国語 1		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

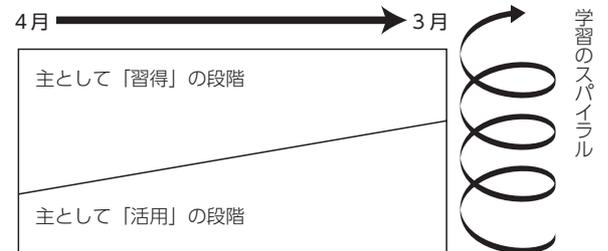
本教科書では、学習指導要領の目標及び内容を、具体的な活動を通して達成することを目指しました。特に以下の点に意を用いて編修しています。

○「言語能力」と「話題」を組み合わせた、新たな国語単元の創造

- 一年間の学習を、各領域の学習内容や活動過程に即して単元ごとに設定しています。また、各教材の学習内容の重点や言語活動の過程を明確に示し、学びが具体的に見えるように図りました。



○単元展開のイメージ



[2学期]

4 表現に立ち止まる

▶p.76

第4単元

文字や声の一つ一つの背後に息づくイメージを、受け手として豊かに想像し、思考を深めます。



◀p.79

第5単元

5 古典と出会う

古典との出会いを通して、日本語の昔や日本文化の昔を大切に受け継ぐ心を育てます。



▶p.121

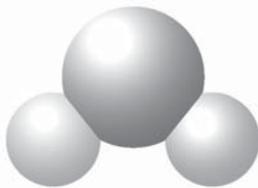


▶p.104~105

第6単元

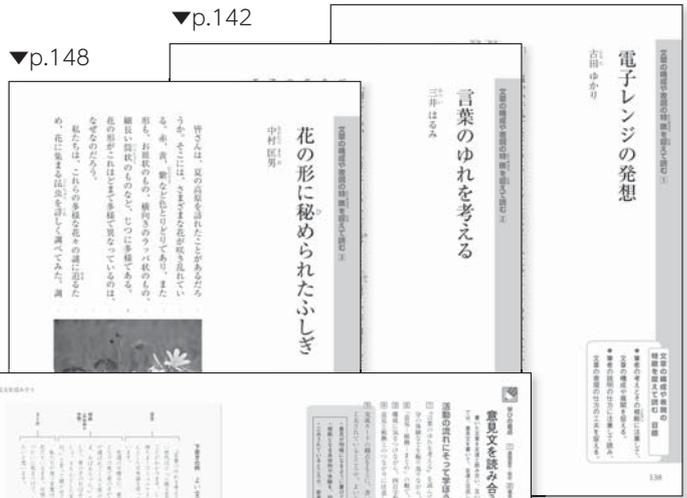
6 説明を比べる

複数の文章を比較して読むことによって、それぞれの特徴や内容を明らかにできることを学びます。



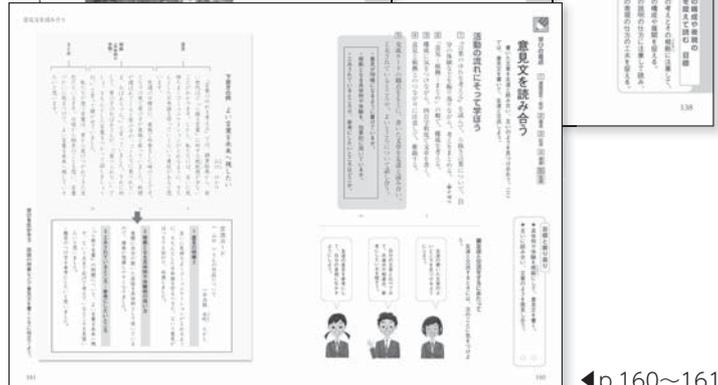
○三つの文章を組み合わせて教材化しました。

▼p.138



▼p.148

▼p.142



◀p.160~161

〔3学期〕

7 発想を広げる

言葉を題材とした文章や、図表などの資料を使うことで、自分の発想を広げます。

▼p.178~179

困ったこと	具体的な内容
学習に関すること (7.2%)	内容が難しくなったこと 覚えることが多くなったこと
友達に関すること (2.4%)	新しい友達をつくるのに時間がかかったこと 部活動や習い事などで友達と遊べなくなったこと
生活に関すること (4%)	すいみん時間が短くなったこと 通学時間が長くなったこと

▲p.181



▲p.169

第8単元

8 考えを共有する

作品に描かれた情景や心情を豊かに読み、自分の考えを周りの人と交流します。

▶p.190~191



▲p.206~207

2年の国語
学習へ

○思考力・判断力・表現力を高める、新しい「学習の手引き」の開発

- 課題を発見し、自分で考え、解決する、という課題解決の道筋にそって学習が進められるように、「学習の手引き（みちしるべ）」を構成しました。また、学習のポイントをわかりやすくまとめたコラム「ここが大事」を設定したり、表現領域や言語教材との関連、関連図書の紹介を示したりするなど、思考力・判断力・表現力を高める工夫をしました。

〔「学習の手引き」の構成〕

目標と振り返り 教材の目標と自己評価

確かめよう 情報の取り出し（何がどう書かれているか）

深めよう 内容の解釈（なぜそう書かれているか）

考えよう 考えの形成・表現（自分はどう考えるか）

ここが大事 学習の重点

言葉・表現 言葉と文章内容・表現との関連学習

領域関連 「話すこと・聞くこと」「書くこと」との関連学習

読んでみよう 教材に関連する図書紹介

▶p.95

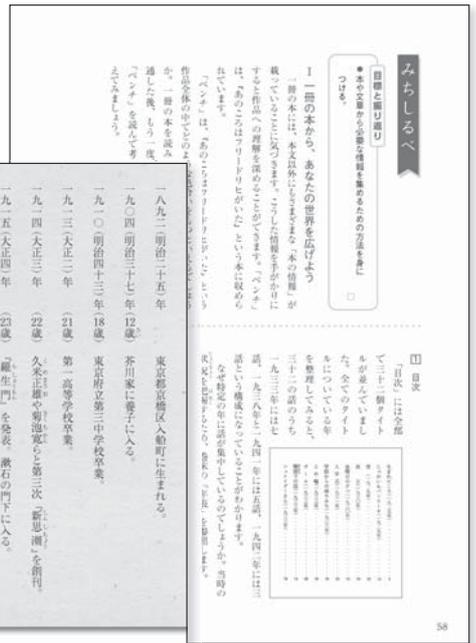


▲p.96~97

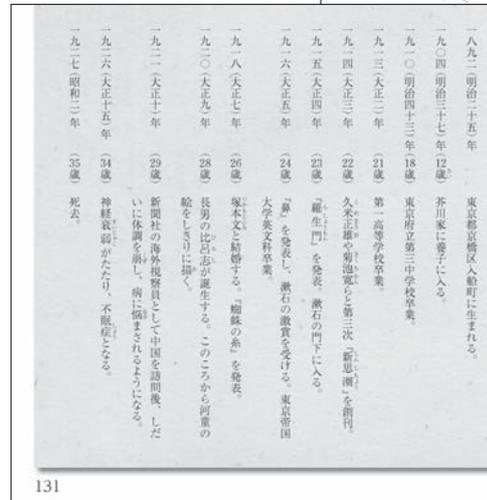
○ 「情報活用」と「近代文学」の2系統で設定された読書教材

- 具体的な読書交流の言語活動を通して、多様な情報活用の力が身に付くように図っています。
- 我が国を代表する作家や作品にふれ、名作の世界に興味をもつように図っています。

▶p.58



▲p.55

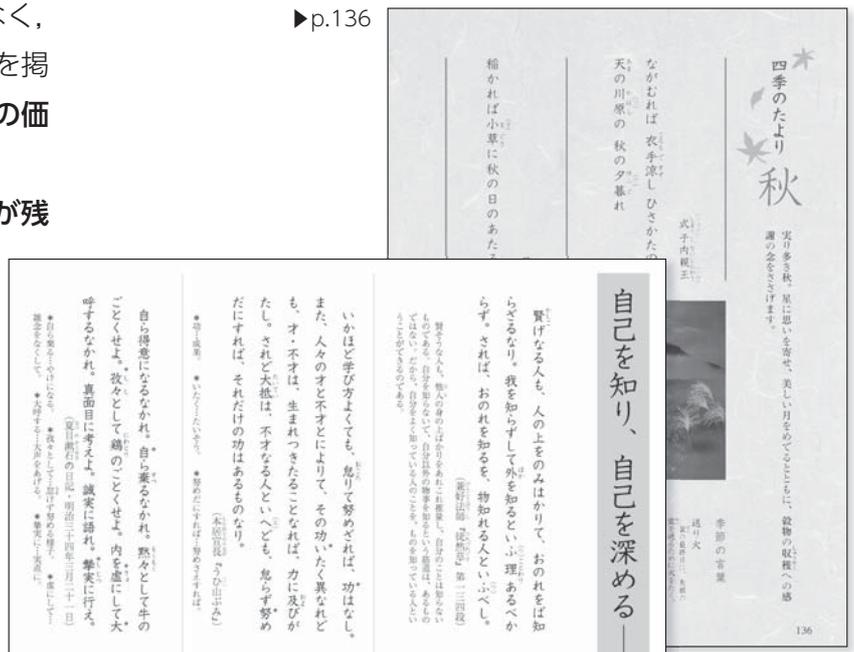


▲p.131

○ 豊富な写真と充実した周辺資料を備えた、ビジュアルで親しみやすい古典教材

- 多様な古典作品について、文章だけでなく、関連する写真や図版などの豊富な資料を掲載し、今日まで受け継がれている作品の価値を認識できるように構成しました。
- 四季折々にまつわる作品や行事、先人が残してきた言葉などを通して、古典の世界に多角的にふれることができるようにしています。

▶p.136



▶折込⑪~⑫

☆ 学びのユニバーサルデザインの実現と環境への配慮

カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により、全ての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。カラーユニバーサルデザイン (CUD) は第三者機関による審査及び認証を受けています。

環境への配慮

教科書の印刷にはグリーン電力を使用し、地球環境への影響を少なくするように配慮しています。また、再生紙と植物油インキを使用しています。

2. 対照表

教科書の単元配列	配当時数 ()内は、含まれる 領域の時数	学習指導要領の内容	該当箇所
言葉と出会う 【詩】 ふしぎ 金子みすゞ／声を出そう 感想を伝え合おう 記録をしよう	1 話聞1 書1	C(1)ア, (2)ア／伝国(1)イ (イ) A(1)オ, (2)イ B(1)ア, (2)イ	14～16ページ 17ページ 18ページ
一 言葉で意味づける 【物語】 音を追いかけて まはら三桃 体験したことを文章にする 対話への扉 お気に入りの一品を紹介する 四季のたより 春	4 書5 話聞1 *	C(1)ア・ウ, (2)ア B(1)ア・イ A(1)ア・イ, (2)ア 伝国(1)ア (ア)	20～27ページ 28～30ページ 31ページ 32ページ
二 関係を見いだす 【説明】 笑顔という魔法 池谷裕二 フリップを用いて報告する 言葉の小窓1 日本語の音声 漢字の広場 1 漢字の部首	5 (話聞1) 話聞4 2 1	C(1)ア・イ, (2)イ／伝国(1)イ (ウ) / A(1)ア A(1)ア・イ・ウ, (2)ア 伝国(1)イ (ア) 伝国(1)ウ (ア)・(イ)	34～41ページ 42～44ページ 45ページ・ 214～217ページ 46～47ページ
三 世界をひらく 【読書】 ベンチ ハンス＝ペーター＝リヒター 上田真而子 訳 【メディア】 写真と言葉が生み出す世界 ——メディアリテラシー入門—— 芸術作品の鑑賞文を書く 文法の小窓1 言葉の単位 四季のたより 夏	4 4 (書1) 書4 2 *	C(1)カ, (2)ウ C(1)カ, (2)ウ／B(1)ウ B(1)ウ, (2)ア 伝国(1)イ (エ) 伝国(1)ア (ア)	50～61ページ 62～69ページ 70～72ページ 73ページ・ 223～225ページ 74ページ
四 表現に立ち止まる 【詩】 河童と蛙 草野心平 【物語】 オツベルと象 宮沢賢治 行事などの案内文を書く 漢字の広場2 画数と活字の字体 言葉の小窓2 日本語の文字	1 7 書4 1 2	C(1)ア・ウ, (2)ア／伝国(1)イ (オ) C(1)ア・ウ・エ B(1)エ, (2)ウ 伝国(1)ウ (ア)・(イ) 伝国(1)ウ (ア)・(イ)	76～79ページ 80～97ページ 98～99ページ 100～101ページ 102ページ・ 218～222ページ
五 古典と出会う 【古文】 古典の扉を開く ——百年後、千年後の友人であるあなたへ—— 【古文】 物語の始まり —— 竹取物語 —— 【漢文】 故事成語 —— 中国の名言 —— 【読書】 蜘蛛の糸 芥川龍之介 四季のたより 秋	3 3 3 (書1) 3 *	伝国(1)ア (ア), (イ) / C(1)ウ, (2)ア 伝国(1)ア (ア) / C(1)ウ, (2)ウ 伝国(1)ア (ア) / C(1)ウ, (2)ウ / B(1)イ C(1)カ, (2)ウ 伝国(1)ア (ア)	104～109ページ 110～119ページ 120～123ページ 124～133ページ 136ページ
六 説明を比べる 【説明】 文章の構成や表現の特徴を捉えて読む 1 電子レンジの発想 古田ゆかり 2 言葉のゆれを考える 三井はるみ 3 花の形に秘められたふしぎ 中村匡男 友達のスピーチを聞く 意見文を読み合う 漢字の広場3 漢字の音と訓 文法の小窓2 文の成分	2 3 (書1) 5 (書1) 話聞4 書4 1 3	C(1)ア・イ, (2)イ C(1)ア・イ, (2)イ / B(1)ウ C(1)ア・イ・エ, (2)イ / B(1)イ A(1)エ, (2)ア B(1)オ 伝国(1)ウ (ア)・(イ) 内容の取扱い2 (1) イ	138～141ページ 142～147ページ 148～157ページ 158～159ページ 160～161ページ 162～163ページ 164ページ・ 226～233ページ
七 発想を広げる 【報告】 言葉がつなぐ世界遺産 橋本典明 図表を用いて報告する 四季のたより 冬	6 (書2) 書6 *	C(1)イ・エ・オ, (2)イ / B(1)ア B(1)ア・イ・ウ・エ・オ, (2)イ 伝国(1)ア (ア)	166～176ページ 178～181ページ 182ページ
八 考えを共有する 【詩】 四季の詩 (安西冬衛／ジャン＝コクトー 堀口大學 訳／ 八木重吉／三好達治) 文法の小窓3 単語のいろいろ 漢字の広場4 熟語の構成 【小説】 少年の日の思い出 ヘルマン＝ヘッセ 高橋健二 訳 アイデアを出して話し合う 言葉と仕事 言葉の上達は競技を上達させる 平井伯昌	1 3 1 7 (話聞1) 話聞4 *	C(1)ウ, (2)ア 伝国(1)イ (エ) 伝国(1)ウ (ア)・(イ) C(1)ウ・オ / A(1)オ A(1)オ, (2)イ C(1)カ	184～185ページ 186ページ・ 234～239ページ 188～189ページ 190～205ページ 206～209ページ 210～211ページ

(計) 話聞 16時間
書 30時間
計 116時間 (*印の教材は、適宜扱う)